

# 東光寺たより38

## お不動さんのお祭♪

### 浪曲を拝聴しました♪

山県市のお寺の創立記念法會のアトラクションで本山2世微妙大師の出家を題材とした浪曲を拝聴してまいりました。浪曲とは、三味線を伴奏に、「啖呵（たんか）」と呼ばれる語りと「節（ふし）」と呼ばれる歌を織り交ぜて物語を演じる、日本の大衆的な語り芸です。内容は南北朝の騒乱に翻弄されながらも平和を乞い願う藤原藤房がやがて出家して妙心寺2世微妙大師となられ駆け出しの妙心寺を支える事となります♪平和を求める大師の葛藤や仏道に準ずる生き様そして色鮮やかにとは語弊が有るやもしれませんが人生を駆け抜けていった大師の境涯を分かりやすく浪曲に乗せて歌い上げる♪浪曲を実際に聴いてみて、大師の遺徳を偲ぶと共に中納言まで上り詰め後醍醐天皇の近臣までのキャリアをかなぐり捨て参禅された境涯に少しだけ触れる事が出来ました。



11月の日曜日は1年で1回は山の中にあるお不動さんにお経をあげに行くのです。これが険しい道をかきわけて登っていくのですが、今年も登ってこれたと感動もあり良いものだなと思えてくるのです。途中には百觀音という町の史跡もありそっと祈りを捧げてくるのが11月のルーティンでした。



## お参り先の床の間♪

法事等でお邪魔する住職は必ずといって良いほど当家の床の間を拝見します。どなたも趣向を凝らした素晴らしい空間がそこに在り、見るもの全てのヒトを魅了します。



## 紅葉の見頃を迎えるました♪



体露金風（たいろきんぷう）は、禪の經典『碧巖錄』に由来する禪語で、「体」は体や存在、「露」は現れること、「金風」は秋風を意味し、「全てが赤裸々に現れる秋の風」といった意味を持つ。老いや死、人生のどん底のような一見ネガティブな状況を、思慮分別を捨てて受け入れ、生のすべてを肯定する悟りの境地を表した言葉。

現代の言葉で言うと自己受容にあたると思う。肯定する必要は無いと思うが、受け入れる事が必要。受け入れてこそ、そこから解決に向かって動き始める事が出来る。

今まさに受け入れる事が出来るか？否か？は自分自身の心が決める♪



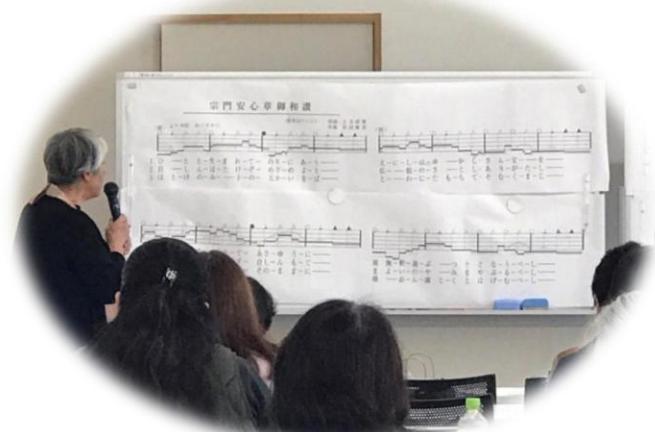
## そうちやんの子供生誕か？

ご存じ当山の看板犬そうちやんはザイショからの依頼が有ってお見合いに行っており無事に子供が生まれてくる運びとなりました。もう何回目のパパになったかは分かりませんが、そうちやんの子供だったら見たいと思える住職でした。



## 寺庭婦人の研修に参加しました♪

当山の寺庭は先日、岐阜市内へ表記の研修に参加して研鑽を積んでまいりました。和尚さんのお話及び御詠歌の講義を受け應分の所得が有りました事を報告します。ここで得た教養等をいかんなく発揮してくれる事でしょう♪



文責 “東光寺”英隆